

日本共産党 議会だより

No3 2007.6/15

発行・日本共産党日立市議会議員 大曾根勝正

茨城県日立市助川町1-1-1 日立市役所内

0294(22)3111

日本共産党茨城北部地区委員会 0294(53)8501



大曾根 勝正

久慈町4-7-5

0294(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

日立電鉄線跡地利用についての市民の声を届ける

大曾根勝正議員が一般質問

6月定例市議会で、11日に会派代表質問、12日・13日に一般質問がおこなわれました。

12日、大曾根勝正議員が登壇し、市政に関する一般質問をおこないました。

大曾根議員は「日立電鉄線跡地活用につ

いて」など4項目を質問。今年1月～4月に実施したアンケート調査で寄せられた回答をもとに、市の考えを聞くなどしました。

*詳しくは裏面をご覧ください。(連載していきます)

「日本の戦争は『自衛のための戦争』だった」と描く

アニメ(動画)「誇り」を教育に持ち込ませないで

～市教育委員会に申し入れ

5月17日の国会で、文部科学省の委託事業として、日本青年会議所が作成したアニメーション(動画)のDVDを使う「近代史教育プログラム」が、各地の中学校でおこなわれようとしていることが、日本共産党の石井郁子衆院議員の国会質問で明らかになりました。

このアニメ「誇り」では、日本の戦争は「自衛のための戦争」「アジアの人々を白人から解放」するための戦争だったなどと登場人物に語らせています。加害の事実には触れず、日本がアジア諸国を助けたと描き、日本人の戦争への反省は「GHQによる洗脳」の結果と説明しています。



大曾根勝正議員は党日立市委員会の小林真美子さんとともに、同じく市委員会根本陽一さんと連名で、12日、アニメ「誇り」を教育に持ち込ませないことを求める申し入れ書を市教育委員会に提出、河井章夫教育長や部長、担当課長らと対談しました。

大曾根議員が「こうした靖国派の、誤った歴史観を子どもたちに植え付けるようなアニメを教育に持ち込ませないでほしい」と強く求めると、河井教育長は「こんなアニメがあるということも、わからなかった。今のところ、市には持ち込まれていないが、あった場合は適切に対応する」と話しました。(小林 記)

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku> です。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

大曾根勝正議員の一般質問をご紹介します。

交通渋滞解消に向けての

ソフト面の整備に力をいれて

大曾根議員「櫻村市長は『慢性的な交通渋滞は、市民生活や産業活動の大きな障害となっており、6号国道の4車線化や山側道路など幹線道路整備などに力をいれていく』と言っています。長いこと幹線道路整備に力を入れてきましたが、渋滞の状況はいつこうに解決されていません。新しい道路を作れば、そこに車が集中し、新たな渋滞や環境問題が発生していることも事実です。

渋滞を解消するためには、私はハードの整備と同時に、それ以上にソフト面の整備に力を入れるべきと考えます。

当市では特に朝夕の渋滞がひどく、幹線道路から溢れた車が、幅員の狭い団地の生活道路を通過するため、子どもたちの登下校まで脅かされています。

市長が描く幹線道路ネットワークの完成には、なお長い期間を要します。進んだ自治体では、道路整備と同時に、公共交通の利用促進に数値目標を掲げて取り組んだり、民間企業数十社と行政が一体

となって、交通需要マネジメント研究会を立ち上げ、「あいのりエコデー」として自らマイカー規制をおこなったり、朝の出勤時間帯に交通量が集中していることを調査して、ピークをカットするため社会実験に、企業や市民の参加をよびかけ、効果をあげています。当市としても限られた財源の中で、道路整備だけに頼らず、ソフト面にも、もっと力を入れるべきではないかと考えるものです。当局の考えをお聞きします。

都市建設部長「高速道路の社会実験の中で立ちあげた企業にも参加いただいている『日立の交通環境を創る市民の会』などからも御意見をいただき、日立市の特性にあった交通渋滞緩和のソフト施策に取り組んでいきます。」

大曾根議員「市長の考えが幹線道路優先だと、『交通環境を創る市民の会』も幹線道路の促進が中心になってしまいがちです。限られた財源の中で、幹線道路の整備は大きな財源を要します。ソフト面の整備は、お金をかけないで、工夫次第で効果をあげていくことができます。もっと本気で取り組んで欲しいと思います。」

日立電鉄線の跡地利活用

について

大曾根議員「日立電鉄線の跡地の取得について、日立グループとの協議が進められているようです。利活用についてお聞きします。」

私も日本共産党日立市委員会、今年1月から4月にかけて、日立市南部を中心に、市民アンケート調査を行いました。2万枚配つて、約380通帰つてきました。日立電鉄線の跡地利用についての質問に、1番多かったのは、道路です。この中にはバス専用道路にしてほしいとの声が多数ありました。2番目に多かったのは、歩道、サイクリング専用として整備してほしいとの声です。要するに車を入れない道路です。この中には、元駅舎だったところは、小さな公園にしてトイレも設置してほしい。また現在の通学路が朝夕交通の激しいところにもかかわらず歩道部分が非常にせまい地域からは、通学路にし

てほしいとの切実な声がありました。そのほか緑地やお花畑、桜ロード、など様々な声がよせられました。

線部分の利活用については、場所によっては多少違ってくると思いますが、子どもたちの通学路に関する部分については、優先してほしいと思います。

基本的な考え方についてお聞きします。」

政策審議室長「旧軌道敷部の利活用については、日立市部分だけでも全長で約13キロメートルにもわたることから、今後、具体的な検討、計画の策定が必要と考えています。形状から道路としての利活用が基本になるものと考えられますが、既存の道路との関係、さらには、市全体の道路ネットワークとの関係等の調査とあわせ、子供たちの安全にも配慮した、通学路としても十分に安全が確保できるような道路の整備についての検討も進めていきたいと考えているところです。」